



ID: 1286

科目名	健康スポーツ実習M(ダンス)【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	大金 朱音			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	前期		単位数	1	
授業形態	実技	授業形式			履修形態	選択	
授業概要							
実技を通して表現する楽しさや表現方法を知るだけでなく、実践者(教育者)として自らが授業を構成できるように模擬授業の実践・研究も含めた内容を行う。							
到達目標							
・授業の到達目標は、ダンスや表現運動の持つ豊かな感性や創造性を生かし、自己表現する意欲および技能を育てるための援助の方法を実技を通して実践できるようになることである。・授業のテーマは、「表現する楽しさ」を出発点に、自ら踊ったり、イメージをふくらませたり、実践者自らが「楽しさ」を享受し、指導者として指導できるようになることである。							
授業計画							
第1回	ガイダンス「身体表現」および「表現する楽しさ」について						
第2回	身体表現のための基礎運動(1)歩く、走る、止まるなどの動作を用いた動きづくり						
第3回	身体表現のための基礎運動(2)動きの高低、緩急などの動作を用いた動きづくり						
第4回	身体表現のための基礎運動(3)各種のステップを用いて連続した動きづくり						
第5回	表現の拡張(1) 模倣遊び、モノを用いた動きづくり						
第6回	表現の拡張(2) リズムあそび、リズムダンス						
第7回	表現の拡張(2) リズムあそび、リズムダンス						
第8回	模擬授業の実践と研究 指導案の作成、模擬授業の実施						
第9回	模擬授業の実践と研究 指導案の作成、模擬授業の実施						
第10回	模擬授業の実践と研究 指導案の作成、模擬授業の実施						
第11回	模擬授業の実践と研究 指導案の作成、模擬授業の実施						
第12回	作品づくり 各グループでテーマ決定、動きづくりの創作活動						
第13回	作品づくり 各グループでテーマ決定、動きづくりの創作活動						
第14回	作品づくり 各グループでテーマ決定、動きづくりの創作活動						
第15回	作品発表会 各グループの作品を発表						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
実技を中心とする科目であるため、出席を最重要視する。また、グループで作品を作ったり、発表することに積極的に取り組むようにすること。さらに、指導者としての技術も身に着けるようにすること。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				60	10	30	
授業外学習			テキスト、教材				
			適宜、配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
村田芳子(2002)最新楽しいリズムダンス・現代的なリズムのダンス(教育技術MOOK)、小学館村田芳子、山本俊彦、川口啓、五十嵐淳子(2001)「体ほぐしの運動」活動アイデア集、教育出版							
キーワード							